

64 ヒモイカリナマコ

(イカリナマコ科)

兵庫県ランク:B

Patinapta ooplax

環境省ランク:指定なし

種の概要

青森県から沖縄県までに分布する。体長200mm。潮間帯中部から下部の、粒径のやや粗い砂泥底に巣穴を掘る。体はほぼ透明で非常に柔らかく、内臓が透けて見える。体表に散らばる骨片がイカリ状であるためイカリナマコの名がつくが、本種を手にとるとこの骨片が引っかかってざらついた触感がある。体腔にはヒモイカリナマコツマミガイ(貝類Aランク)が寄生することがある。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
			○	○			○

県内分布

神戸市、高砂市、たつの市、赤穂市、洲本市、淡路市

県内における生息状況及びその他特記事項

要調査からBに変更。神戸地域、播磨東部から西部、及び淡路島。人工的な砂浜でも底質の条件が良ければ比較的多産する場合がある一方、良好な環境に見える自然海浜の砂泥質干潟でも全く見られないこともある。

保護上の留意点

砂泥質の干潟は県内でも減少しつつあるが、その中でも本種の生息する干潟は限られている。県内における確認地点数は少なく、今後の推移を引き続き見守る必要がある。



写真提供：増田修



写真提供：渡部哲也

【執筆者】 渡部哲也